

# 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース “黄色いハンカチ”

【発行者】  
松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)  
〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階  
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546  
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

## 坂川献灯祭り出店!

8月9日(土)10日(日)に松戸宿坂川献灯祭りが開催され、松戸・東北交流プロジェクトは「大震災を忘れない!・避難者と市民の交流の場」の目的で出店しました。台風の影響で来客数は大幅に少なかったのですが、被災3県の委託品・サロンでの手作り作品・市民の皆様からのご寄贈品はすべて売り上げました。

小学生が手にしてお小遣いを握りしめ、手芸作品を選んでいました。とても感激でした。

これもお手伝いいただきました皆様のおかげと感謝申し上げます。

風情のある灯ろう流しも、2日目は坂川増水のため中止になりました。

大震災から3年半過ぎた今、サロンの中と違い、ちまたでは記憶が薄れつつあるように感じました。

私たちは継続して伝えていく役目を果たして行きたいと思っています。



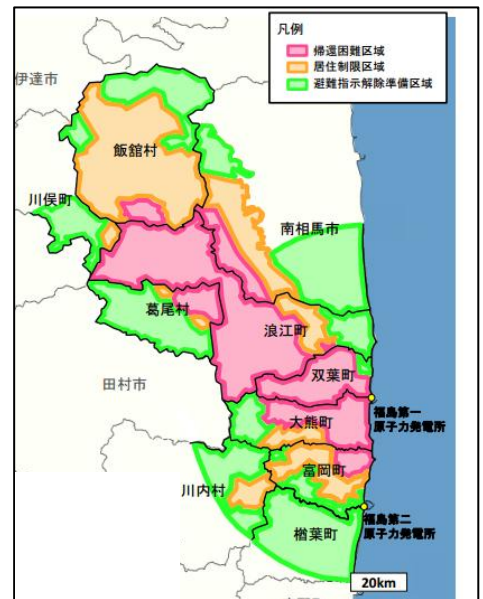
お手伝い・ご寄贈いただいた  
皆様ありがとうございました

### 保子の窓

伝えたいこと  
～あれも・これも～

《みんなで学びましょう》  
原発事故による区域の再編成

震災当初、『警戒区域』『避難指示区域』『緊急時避難準備区域』に区分されていました。現在では、下記の区域に設定されています。  
『緊急時避難準備区域』は平成23年9月30日に解除されています。  
下記に設定された区域の人口は、平成26年6月9日現在、避難指示解除準備区域 32300人・居住制限区域 23200人・帰還困難区域 24500人です。  
文責 古宮保子



	避難指示解除準備区域 (緑色)	居住制限区域 (橙色)	帰還困難区域 (桃色)
放射線量	年間放射線量 20 ミリシーベルト以下となることが確実であると確認された地域	年間放射線量 20 ミリシーベルト超 50 ミリシーベルト以下	年間積算線量 50 ミリシーベルトを超え、5年間を経過しても 20 ミリシーベルトを下回らない恐れのある地域
帰還	住民の早期の帰還を目指す	将来住民が帰還し、コミュニティを再建することを目指す	長期に帰還困難が予想される
片付けのため一時帰宅	立ち入り自由	立ち入り自由	立ち入り制限
宿泊	できない	できない	できない

※行政の区域で分かれているわけではない。例えば、南相馬市は3つに区分けされている。

※立ち入りにも、細かな条件を設けている市町村もある。

# 私も一言

## 浪江町から長野に避難して

浪江町で被災 瀬尾 誠

私は、東日本大震災と福島第一原発の事故により、福島県浪江町から避難を指示されて、浪江町の住居や仕事など浪江町での日常の平穏な暮らしや生きがいを一瞬にして奪われました。

現在は、長野県北信州地方に避難して、浪江町での日常の平穏な暮らしや生きがいは奪われたままですが、長野で日常生活を再開しています。楽しいこともあります、うまいかないこともあります。原発事故から2年たった2013年3月11日には、東電と国を相手に原発事故による損害賠償を求めて集団訴訟に加わりました。この集団訴訟では、千葉地裁に対して、18世帯47人が総額23億9373万円の損害賠償を求めています。千葉県原発訴訟を支援してください、サポーターになってください。原発をめぐるいろいろな訴訟が起きていますが、『東電と国の責任を問い、原発事故による損害賠償を求める』訴訟は、17都道府県で提起されています。県内外で避難生活を送っている方は、いまだに13万人以上います。避難生活がどんなものか、新聞の投書でもうかがえます。「避難で気力失い命を落とした夫」福島民報2013年3月12日付みんなのひろば(読者からの通信)原発事故関連死として、避難生活の長期化が深刻さを増しています。原発事故関連死が震災直接死を上回り、帰還や住宅整備などの生活再建が急務と報じられました。政府は、関連死食い止めるために、被災者の見守り活動や孤立防止心のケアなど生活健康面の対策に取り組むと復興相インタビューしていますが、自殺歯止めかからず、対策会議でも防止策は示されていません。日常の平穏な暮らしや生きがいが奪われたままの避難生活がいかに過酷なものか、あらためて認識することが必要です。(紙面の都合で投稿のすべてを掲載することができません。当サロンブログを見て頂けますようお願いいたします)

### 楽しいお誘い情報・遅めの出発

千葉を楽しむ・バス旅行:東日本大震災被災者対象

#### 「野田市・むらさきの街を楽しむ」

日 時:平成26年10月21日(火)

出発時刻:午前9時30分

集合場所:松戸市民劇場前

定 員:20名

参加費:一人1000円(昼食代)

#### 見学場所は

『ファンケル化粧品』工場見学お土産付

『ものしり醤油館』他を予定

#### お昼は

旬菜厨房『紙ふうせん』地場産にこだわった食材

申込方法などに詳細については、9月16日(火)

以降サロンにお問い合わせください。

チラシは、10月号に同封します。

皆様のご参加をお待ちしています。

主催 特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

#### 市民活動助成事業

《避難者に学ぶ》

「伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験」の  
講演会・ご家族向けイベント事業

開催日:9月7日(日) 会場:女性センターホール

第1部(10:30~12:00)

ワークショップ「日常食を非常食に」

第2部(13:00~15:30)

講演とパネルディスカッション

※まだ、空きがあります。参加者募集中!

## 松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」9月の予定

9月9日(火) 相談デー

就職・税金・介護・原賠補償・どんなことでも

相談員:古宮保子

9月10日(水) 24日(水) 13時30分~

初めての囲碁教室~一から教えます~

市民ボランティア講師 今田靖雄さん

9月16日(火)

手芸の日

講師:戸丸栄子さん

9月18日(木) 13時30分~15時30分

~色で楽しむ紫式部~襲(重ね)色目の世界~

講師: NPO 四季彩倶楽部 山川やえ子さん

9月25日(木)

ミュージック&amp;アロマ

音楽とアロマで身体をリフレッシュ♪

前田さん・笹子さんプロジェクト

9月30日(火) 歌の日

担当:前田洋子さん

毎週水曜日 14時~16時

パソコンデー

担当:サロンスタッフ

※上記以外の日でも毎週火水木 10時~16時オープン中。お立ち寄りください。

※9月23日(火)は秋分の日ですが、サロンはオープンします。

### 2014年度サポーター会員募集中!

松戸・東北交流プロジェクトでは、千葉県に避難している皆さんと交流・支援をする活動をしています。この活動を応援していただくサポーターを募集しています。交流サロン黄色いハンカチで受付しています。 ※もれなくサポーター会員証をお渡します。

(個人)1口1000円(団体・法人)1口5000円